

第3章 中学生・高校生の職業適性の特徴と変化

3-1 問題・目的

我が国において GATB（進路指導・職業指導用）の最初の版が開発、公表されたのは 1952 年である。その後、GATB では、1957 年、1969 年、1983 年、1995 年、2013 年に検査や手引き等に関して全体もしくは部分的な改訂が行われてきた。心理検査については測りたい特性を正確に測ることができるかという信頼性、妥当性の保証が重要な条件となるが、社会的な変化とともに検査の信頼性、妥当性が損なわれないようにするためには、定期的に問題内容や基準値を見直す必要がある。

ただ GATB の場合は、「一般職業適性検査」という名称が示しているように、多くの職業に共通する一般的な能力を評価する検査であるため、測定される特性は社会的な変化に伴い著しく変わるようなものではない。また、近年においても、検査項目の表現の古さや換算基準のレベルについて、運用上、問題となるような指摘は起こっていない。そこで、現行版に至る直近の 2 回の改訂（1995 年および 2013 年）では、検査項目そのものを見直したり、下位検査の粗点を適性能得点に換算するための基準を見直したりという改修作業は実施されず、手引に記載されている適性職業群の職業名の見直しと修正等のみが行われた。

なお、1995 年と 2013 年の手引改訂の際には、新しい基準値の作成は実施されなかったものの、その時点で入手された過去数年分のデータを用いて、GATB の下位検査得点や従来の換算基準を用いて作成された適性能得点が示されている。このうち 2013 年の改訂においては、2001 年 4 月から 2012 年 3 月までに集められた中学生、高校生の GATB のデータ、約 10 万件が検討されており、各尺度得点と適性能得点の集計結果は 2013 年版の手引に掲載されている（厚生労働省職業安定局,2013）。ただ、手引の中で示されている集計結果は、改訂のための参考資料としての位置づけに留められているため、データから読み取れる特徴についての詳しい分析や検討は行われていない。

そこで本章では、近年における中学生、高校生の職業適性の特徴、および過去と比較した時の近年の得点水準や、長期的にみた変化の傾向を明らかにすることを目的として、2013 年の改訂の際に用いられた GATB のデータを再分析する。これまでの換算基準に対して、近年の中学生、高校生の職業適性の平均的な水準がどのように位置づけられるのかを長期的な視点から捉えておくことは、換算基準の今後の見直しやプロフィールの解釈に向けた資料としても役立てられると考えたためである。

なお、2013 年に発行された手引に記載されているのは 2001 年 4 月から 2012 年 3 月までの 11 年間のデータであるが、中学生、高校生の職業能力の長期的な変化をみるという分析の観点を踏まえ、新たに 2012 年 4 月から 2014 年 3 月までの 2 年分のデータの提供を受けることができたので、本章では 13 年間のデータを用いて、中学生、高校生の職業能力の特徴

と変化について検討を行いたい。

3-2 方法

(1) 分析の対象とした GATB の変数

GATB を構成する 15 個の下位検査の内容については、第 2 章で記述した通りである。本章ではこれらの下位検査の粗点を分析に用いた。また、粗点を標準得点に換算して算出する 9 つの適性能得点も変数として取り上げた。器具検査は実施件数が少ないので、分析対象からはずし、紙筆検査のみの結果を用いた。

(2) データ分析の方針

本章におけるデータ分析の方針は次の通りである。

- ①1983 年版のデータと 2013 年版のデータ間での下位検査得点、適性能得点の平均値の比較
- ②2001 年度から 13 年間にわたる適性能得点の平均値の推移の検討

①に関しては、2013 年版の手引改訂の際に行われた分析について、2011 年度と 2012 年度のデータを追加して踏襲するものである。1983 年の改訂版より後の改訂においては、検査項目も換算基準も同一のものが用いられているので、1983 年版の改訂時に集められたデータに基づく下位検査得点と適性能得点の平均値と比べて近年のデータがどのような特徴を示すのかを比較することが目的である。

②では、同一項目で長期間にわたるデータが集められているので、2001 年度から 2013 年度までの 13 年間に、中学生と高校生の適性能得点について、徐々に減少あるいは徐々に増加するなどの一定の変化の傾向があるかどうかを検討することを目的とする。

(3) 分析に用いた対象者

本章では、愛知県ならびに公益財団法人愛知県労働協会から提供された 13 年分の GATB のデータのうち、中学生、高校生のデータを分析の対象とした。データの基礎集計の部分、例えば GATB の下位検査尺度や適性能得点を算出し、年次推移を検討する場合、あるいは得点間の比較などを行う場合には、データ数が少なかった中学 1 年生を除く中学 2、3 年生および高校 1、2、3 年生のデータを用いた。

他方、現行版の GATB の基準が作成された 1983 年版と近年のデータを比較する場合には、1983 年版で対象となった学年と同一の学年のデータを取り上げた。すなわち、1983 年版の GATB の手引（労働省職業安定局,1983）では、中学生は 2 年生と 3 年生、高校生は 1 年生と 2 年生のデータで基準が作成されているので、比較の場合にはこれと同学年のデータを用いた。

3-3 結果

(1) データの属性に関する集計結果

本章で取り上げたデータについて、学校、男女、学年、年度、学科等について集計した結果を最初に示す。

①GATB の実施件数の集計結果

中学生と高校生の実施件数（データ数）を男女別、学年別、年度別に集計した。中学生については1年生のデータ数が13年間で男子242件、女子203件と少なかったため、2年生と3年生のみを対象として集計した結果を示す（図表3-1）。

高校生については1年生から4年生（定時制高校在学学生等）のデータが含まれていたが、4年生の場合は年度こみで608件と件数が少なかった。そこで、4年生は集計の対象からはずし、1年生から3年生で各年度の男女別、学年別のデータ数を集計した（図表3-2）。

なお、集められた年度と学年の扱いであるが、例えば2001年度の中学2年生は、2001年4月～2002年3月までの期間に中学2年生として採点されたデータを意味する。

図表3-1 各年度における中学生の学年別・男女別の人数構成：各セルの数字はデータ数(件)

	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
	男子	女子												
2年生	2,006	1,895	1,923	1,897	1,526	1,454	1,135	1,050	1,246	1,190	1,436	1,368	1,594	1,607
3年生	5,623	5,406	4,927	4,507	4,003	3,786	3,413	3,198	3,126	3,002	2,775	2,650	3,159	2,910
学年計	7,629	7,301	6,850	6,404	5,529	5,240	4,548	4,248	4,372	4,192	4,211	4,018	4,753	4,517
学年男女計	14,930		13,254		10,769		8,796		8,564		8,229		9,270	

	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度合計	
	男子	女子	男子	女子										
2年生	1,419	1,375	1,367	1,323	1,103	1,034	1,304	1,210	1,393	1,382	1,118	1,068	18,570	17,853
3年生	2,784	2,632	2,592	2,336	1,964	1,815	1,362	1,276	1,474	1,327	1,650	1,555	38,852	36,400
学年計	4,203	4,007	3,959	3,659	3,067	2,849	2,666	2,486	2,867	2,709	2,768	2,623	57,422	54,253
学年男女計	8,210		7,618		5,916		5,152		5,576		5,391		111,675	

図表3-2 各年度における高校生の学年別・男女別の人数構成：各セルの数字はデータ数(件)

	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
	男子	女子												
1年生	256	329	230	265	330	753	321	556	518	486	795	628	809	665
2年生	1,665	2,675	1,864	2,881	2,192	2,895	2,316	2,701	2,360	2,708	2,344	2,532	2,562	3,075
3年生	403	1,893	550	2,223	568	2,161	523	1,928	772	1,653	1,026	1,599	1,172	1,899
学年計	2,324	4,897	2,644	5,369	3,090	5,809	3,160	5,185	3,650	4,847	4,165	4,759	4,543	5,639
学年男女計	7,221		8,013		8,899		8,345		8,497		8,924		10,182	

	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度合計	
	男子	女子	男子	女子										
1年生	992	660	1,214	627	1,151	734	1,292	704	1,489	629	1,623	778	11,020	7,814
2年生	2,183	2,697	2,074	2,893	1,887	3,018	2,384	2,902	2,290	2,997	2,624	3,766	28,745	37,740
3年生	1,124	1,432	2,142	1,640	1,487	1,420	1,127	865	1,092	1,283	1,385	1,300	13,371	21,296
学年計	4,299	4,789	5,430	5,160	4,525	5,172	4,803	4,471	4,871	4,909	5,632	5,844	53,136	66,850
学年男女計	9,088		10,590		9,697		9,274		9,780		11,476		119,986	

図表 3-1 および図表 3-2 をみると、GATB のデータ数（実施件数）は中学生の場合、年々減少傾向にある。2001 年度は約 15,000 件の実施があったが、2013 年度ではその約三分の一の 5,000 件程度である。他方で、高校生の場合は、多少の増減はあるものの 2001 年度に比べて近年の実施件数は増えている。2001 年度は 1 年生から 3 年生までで約 7,000 件程度の実施件数であったが、その後、2006 年度までは 8,000 件台で推移し、その後は、9,000～10,000 件台を維持し、2013 年度は 11,000 件を超え、13 年間で最もデータ件数が多くなっている。

② 高校生の学科別にみたデータの内訳

高校生の学科ごとに、学年と男女に関してクロス集計を行った結果を図表 3-3 に示す。1 年生については、「普通科および複数の学科」の生徒の割合が多くなっている。「普通科および複数の学科」の高校生は、女子の割合が高く 6,320 件で、男子の 3,354 件の約 2 倍となっている。その次が「工業科」の生徒でこれは男子が 6,829 件、女子が 241 件でほとんどが男子であった。2 年生について、学科別に男女計を算出すると「商業科」が 26,450 件、「工業科」が 14,171 件、「農林水産科」が 4,068 件、「窯業科」が 1,875 件、「普通および複数の学科」が 19,921 件で、「商業科」に所属する者のデータが多かった。その次が「普通および複数の学科」、「工業科」となった。3 年生については「普通および複数の学科」が 20,357 件で最も多く、次が「商業科」11,522 件（約 8 割が女子）となった。学年をこみにすると、最も多いのが「普通および複数の学科」の生徒（約 4 割）で、約 3 割が「商業科」、約 2 割が「工業科」となっている。

図表 3-3 高校生の学科別の学年・男女別の人数構成：各セルの数字はデータ数（件）

学科		1年生		2年生		3年生		計
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	
商業	人数	0	0	4290	22160	1895	9627	37972
	割合(%)	0	0	11.30	58.36	4.99	25.35	31.65
工業	人数	6829	241	12400	1771	2373	57	23671
	割合(%)	28.85	1.02	52.38	7.48	10.02	0.24	19.73
農林水産	人数	837	1253	1947	2121	117	65	6340
	割合(%)	13.2	19.76	30.71	33.45	1.85	1.03	5.28
窯業	人数	0	0	855	1020	92	84	2051
	割合(%)	0	0	41.69	49.73	4.49	4.1	1.71
普通および 複数の学科	人数	3354	6320	9253	10668	8894	11463	49952
	割合(%)	6.71	12.65	18.52	21.36	17.81	22.95	41.63
計	人数	11020	7814	28745	37740	13371	21296	119986
	割合(%)	9.18	6.51	23.96	31.45	11.14	17.75	100.00

他方、1983 年版の手引に掲載されている高校生の基準集団のデータ（以下、83 年データとする）の学科別内訳を表にしたものが図表 3-4 である。学科別では学年の内訳は示されていないため、男女別の内訳のみとなっている。

83 年データとともに今回、本研究で扱っている 2001 年度から 2013 年度のデータ（以下、

01-13年データとする)を、対応する学科毎に比較したものが図表3-5である。01-13年データの学科別の件数を83年データと比較すると、普通科の割合が低く、商業科の割合が高くなっている。本章で扱っているデータにはこのようなサンプルの特性が反映されている可能性があることを結果の解釈の際に考慮する必要があるだろう。

図表3-4 83年データの高校生の学科別、男女別の人数構成：各セルの数字はデータ数(件)

学科		男子	女子	計
普通科	人数	559	736	1295
	割合(%)	43.17	56.83	60.57
農業科	人数	72	31	103
	割合(%)	69.90	30.10	4.82
工業科	人数	266	4	270
	割合(%)	98.52	1.48	12.63
商業科	人数	140	226	366
	割合(%)	38.25	61.75	17.12
家庭科	人数	0	104	104
	割合(%)	0.00	100.00	4.86
学科計	人数	1037	1101	2138
	割合(%)	48.50	51.50	100.00

図表3-5 83年データと01-13年データの高校生の学科別、男女別の人数構成：各セルの数字はデータ数(件)

学科	データ	全体に占める割合(%)
普通科	83年データ	60.57
	01-13年データ	41.63
農業科	83年データ	4.82
	01-13年データ	5.28
工業科	83年データ	12.63
	01-13年データ	19.73
商業科	83年データ	17.12
	01-13年データ	31.65
家庭科	83年データ	4.86
	01-13年データ	0
窯業科	83年データ	0.00
	01-13年データ	1.71

(2) 各年度の学年別にみた下位検査得点の平均値と標準偏差

GATBの紙筆検査の11個の下位検査ごとに粗点の平均値(mean)と標準偏差(SD)を算出した。学年別、年度別に集計した結果のうち、中学生の値を図表3-6に、高校生の値を図表3-7に示す。これらの数値は男女込みで算出されている。

図表 3-6 中学 1、2 年生の学年別、年度別、各下位検査得点の平均値 (mean) と標準偏差 (SD)

	下位検査	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD												
		n=3,901		n=3,820		n=2,980		n=2,185		n=2,436		n=2,804		n=3,201	
中学2年生	円打点	90.62	15.61	88.95	16.84	89.37	16.13	89.90	17.02	89.18	16.51	91.15	16.58	90.40	16.26
	記号記入	44.88	6.50	44.04	6.41	43.70	6.64	44.89	6.46	45.01	6.20	45.60	6.26	45.79	6.36
	形態照合	16.93	3.37	16.91	3.39	16.85	3.37	16.88	3.40	16.76	3.44	16.84	3.48	16.92	3.50
	名詞比較	40.26	6.17	40.19	6.52	40.08	6.17	40.56	6.07	40.42	6.28	40.70	6.32	41.31	6.28
	図柄照合	16.96	2.39	16.92	2.42	16.86	2.43	16.87	2.43	16.65	2.46	16.64	2.40	16.81	2.43
	平面図判断	11.54	2.87	11.46	2.80	11.28	2.72	11.32	2.73	11.11	2.82	11.16	2.82	11.38	2.86
	計算	15.40	4.31	15.36	4.32	15.06	4.22	14.89	4.22	14.64	4.11	14.59	4.28	14.95	4.25
	語意	15.28	4.25	15.54	4.31	15.40	4.21	15.77	4.44	15.31	4.40	15.60	4.42	15.87	4.40
	立体図判断	13.13	2.71	13.10	2.72	12.96	2.63	12.79	2.75	12.50	2.77	12.63	2.73	12.75	2.76
	文章完成	22.90	6.90	22.65	6.90	21.85	6.78	22.61	6.93	22.25	6.78	22.63	6.90	23.07	7.16
算数応用	7.24	2.49	7.20	2.46	7.13	2.44	7.28	2.43	7.22	2.41	7.29	2.50	7.27	2.51	

	下位検査	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=2,794		n=2,690		n=2,137		n=2,514		n=2,775		n=2,186		n=36,423	
中学2年生	円打点	91.80	15.95	90.73	17.74	90.81	16.40	89.42	16.45	88.69	17.45	87.18	16.70	89.90	16.60
	記号記入	46.07	6.45	45.71	6.68	45.28	6.47	45.47	6.46	45.96	6.40	45.77	6.69	45.19	6.50
	形態照合	16.84	3.41	16.61	3.56	16.81	3.39	16.88	3.55	16.95	3.51	17.05	3.43	16.87	3.44
	名詞比較	41.27	6.29	40.73	6.55	41.00	6.39	40.90	6.33	41.26	6.26	41.10	6.53	40.72	6.33
	図柄照合	16.77	2.37	16.48	2.50	16.63	2.35	16.54	2.48	16.64	2.45	16.49	2.52	16.73	2.44
	平面図判断	11.47	2.79	11.13	2.85	11.33	2.82	11.12	2.84	11.07	2.77	10.96	2.99	11.28	2.83
	計算	15.14	4.25	14.98	4.40	15.54	4.26	15.43	4.25	15.55	4.15	15.61	4.38	15.17	4.28
	語意	15.80	4.42	15.31	4.37	15.54	4.32	15.33	4.35	15.55	4.21	15.27	4.32	15.51	4.34
	立体図判断	12.69	2.71	12.41	2.71	12.41	2.79	12.31	2.81	12.17	2.75	11.94	2.82	12.65	2.76
	文章完成	22.83	7.06	22.11	7.26	22.46	6.98	22.37	7.07	22.51	6.94	21.85	6.97	22.50	6.98
算数応用	7.23	2.53	7.24	2.59	7.53	2.59	7.39	2.68	7.46	2.60	7.55	2.66	7.29	2.53	

	下位検査	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
		n=11,029		n=9,434		n=7,789		n=6,611		n=6,128		n=5,425		n=6,069	
中学3年生	円打点	90.98	16.93	91.16	17.06	91.65	16.90	87.35	17.35	91.09	17.04	91.51	17.27	94.22	17.32
	記号記入	45.25	7.00	45.05	6.57	45.14	6.90	42.08	9.72	45.45	7.04	46.43	6.53	47.00	6.55
	形態照合	17.36	3.50	17.32	3.48	17.34	3.47	17.20	3.45	17.28	3.52	17.27	3.48	17.26	3.47
	名詞比較	41.78	6.54	41.76	6.51	42.08	6.48	41.91	6.49	41.96	6.55	42.31	6.35	42.60	6.62
	図柄照合	17.31	2.42	17.29	2.42	17.29	2.47	17.17	2.41	17.13	2.47	17.02	2.40	17.11	2.37
	平面図判断	11.90	2.89	11.93	2.99	11.83	2.87	11.65	2.84	11.63	2.82	11.70	2.80	11.70	2.86
	計算	16.00	4.44	16.10	4.42	16.18	4.40	16.02	4.38	15.81	4.38	15.93	4.44	15.78	4.42
	語意	16.45	4.53	16.40	4.60	16.36	4.57	16.46	4.63	16.73	4.59	16.90	4.76	17.16	4.76
	立体図判断	13.37	2.73	13.32	2.72	13.28	2.79	13.16	2.79	13.03	2.79	12.99	2.76	12.98	2.82
	文章完成	25.13	7.40	25.02	7.35	24.95	7.34	25.00	7.66	25.53	7.49	25.65	7.49	25.45	7.67
算数応用	7.53	2.62	7.65	2.61	7.75	2.68	7.84	2.70	7.89	2.64	7.90	2.71	7.92	2.73	

	下位検査	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=5,416		n=4,928		n=3,779		n=2,638		n=2,801		n=3,205		n=75,252	
中学3年生	円打点	92.95	17.96	94.49	18.02	95.25	18.76	93.96	18.02	93.21	17.16	93.59	16.98	91.95	17.45
	記号記入	46.75	6.85	46.71	6.57	47.27	6.87	47.10	7.15	47.23	6.90	47.61	7.25	45.72	7.27
	形態照合	17.29	3.64	17.21	3.47	17.30	3.54	17.47	3.64	17.23	3.61	17.44	3.58	17.30	3.51
	名詞比較	42.40	6.73	42.27	6.47	42.50	6.83	42.67	6.77	42.21	6.56	43.22	6.71	42.16	6.57
	図柄照合	17.04	2.45	16.89	2.44	17.02	2.47	17.00	2.45	17.05	2.46	17.20	2.49	17.15	2.44
	平面図判断	11.82	2.85	11.68	2.80	11.68	2.89	11.79	2.84	11.56	2.91	11.66	2.85	11.76	2.87
	計算	16.05	4.37	15.85	4.50	16.02	4.64	16.52	4.42	15.85	4.56	16.51	4.43	16.02	4.44
	語意	17.02	4.77	16.60	4.65	16.91	4.89	16.81	4.74	16.52	4.80	16.96	4.70	16.66	4.67
	立体図判断	12.96	2.80	12.69	2.74	12.76	2.90	12.76	2.82	12.61	2.84	12.65	2.79	13.07	2.79
	文章完成	25.24	7.63	24.72	7.60	25.05	7.76	25.06	7.69	24.34	7.64	25.43	7.92	25.14	7.54
算数応用	7.94	2.77	7.89	2.75	8.01	2.93	8.06	2.78	7.79	2.82	8.08	2.83	7.81	2.71	

図表 3-7 学年別、年度別、各下位検査得点の平均値(mean)と標準偏差 (SD) (高校 1、2 年生分)

	下位検査	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
		n=585		n=495		n=1,083		n=877		n=1,004		n=1,423		n=1,474	
高校1年生	円打点	91.35	17.84	88.16	19.85	89.87	18.61	91.00	17.03	92.85	15.69	93.91	18.48	95.58	17.58
	記号記入	46.55	8.24	45.84	9.48	46.07	7.84	46.85	7.77	47.12	6.74	47.54	7.66	47.95	7.30
	形態照合	17.62	3.54	17.04	3.43	16.98	3.44	17.28	3.43	17.53	3.41	17.57	3.57	17.37	3.53
	名詞比較	42.78	5.86	40.89	6.81	40.65	7.00	41.39	6.64	42.94	6.34	42.39	6.39	42.81	6.39
	図柄照合	17.24	2.37	16.82	2.53	16.85	2.57	17.08	2.36	17.32	2.35	17.15	2.47	17.16	2.33
	平面図判断	12.13	2.84	11.76	2.84	11.25	3.01	11.76	2.84	12.02	2.79	11.87	2.94	11.83	2.82
	計算	16.82	3.56	15.15	4.51	14.23	4.45	15.10	4.36	16.17	4.06	15.70	3.82	15.56	3.88
	語意	17.17	4.05	15.68	4.74	15.16	4.59	16.35	4.67	16.90	4.54	17.12	4.24	17.01	4.42
	立体図判断	13.47	2.85	13.22	2.80	12.95	2.91	13.21	2.78	13.51	2.90	13.25	3.00	13.25	2.72
	文章完成	27.51	6.55	24.45	7.80	23.64	7.58	25.04	7.30	25.72	7.12	25.91	6.80	26.04	6.91
算数応用	7.64	2.37	7.18	2.41	6.52	2.62	7.04	2.52	7.93	2.52	7.87	2.44	7.93	2.46	

	下位検査	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=1,652		n=1,841		n=1,885		n=1,996		n=2,118		n=2,401		n=18,834	
高校1年生	円打点	95.96	17.17	95.26	17.31	93.96	16.17	93.49	15.99	92.71	15.74	93.61	15.79	93.49	16.97
	記号記入	48.42	7.10	48.22	6.93	47.50	6.97	47.94	6.60	48.47	6.95	48.27	6.91	47.74	7.24
	形態照合	17.44	3.42	17.30	3.50	17.31	3.39	17.54	3.42	18.03	21.61	17.63	3.40	17.43	3.46
	名詞比較	42.85	6.11	42.95	6.07	42.77	5.70	43.32	6.08	43.87	21.54	43.63	5.71	42.78	6.17
	図柄照合	17.19	2.44	17.11	2.41	17.02	2.34	17.08	2.28	17.17	2.29	17.21	2.33	17.12	2.37
	平面図判断	11.80	2.88	11.81	2.82	11.75	2.77	11.81	2.81	11.97	2.78	11.86	2.78	11.82	2.83
	計算	15.59	3.76	15.53	3.77	15.56	3.62	16.08	3.73	16.67	3.46	16.68	3.35	15.86	3.84
	語意	17.11	4.34	17.00	4.23	16.75	4.08	17.00	4.16	17.24	3.93	17.06	4.01	16.86	4.27
	立体図判断	13.24	2.97	13.26	2.79	13.04	2.80	13.13	2.86	13.20	2.75	13.00	2.78	13.18	2.84
	文章完成	25.53	6.64	24.99	6.80	25.12	6.47	25.39	6.48	25.71	6.35	25.69	6.25	25.44	6.75
算数応用	7.85	2.52	7.83	2.47	7.80	2.48	8.07	2.41	8.53	2.30	8.31	2.26	7.88	2.48	

	下位検査	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD												
		n=4,340		n=4,745		n=5,087		n=5,017		n=5,068		n=4,876		n=5,637	
高校2年生	円打点	95.50	17.37	98.30	21.28	95.41	17.12	93.16	15.98	93.53	16.34	93.96	16.03	95.11	17.20
	記号記入	47.13	6.98	47.45	7.72	47.42	7.54	46.48	6.55	47.17	6.37	47.53	6.30	47.82	6.53
	形態照合	17.99	3.53	17.91	3.47	18.10	3.50	17.78	3.44	17.82	3.40	17.79	3.39	17.82	3.46
	名詞比較	43.75	6.15	43.73	6.01	44.07	6.11	43.93	6.01	43.81	5.90	43.95	5.91	44.22	5.96
	図柄照合	17.70	2.39	17.66	2.34	17.75	2.33	17.54	2.35	17.50	2.36	17.47	2.30	17.44	2.35
	平面図判断	12.50	2.81	12.48	2.86	12.50	2.84	12.25	2.75	12.23	2.79	12.22	2.78	12.16	2.77
	計算	16.86	3.69	16.68	3.72	16.64	3.73	16.33	3.67	16.29	3.71	16.27	3.61	16.40	3.57
	語意	17.17	4.37	17.38	4.37	17.54	4.25	17.53	4.21	17.61	4.28	17.69	4.16	17.97	4.12
	立体図判断	13.73	2.74	13.72	2.68	13.90	2.80	13.65	2.72	13.67	2.73	13.60	2.71	13.43	2.76
	文章完成	26.96	6.62	26.93	6.62	27.13	6.63	26.94	6.66	26.93	6.52	27.25	6.48	27.41	6.51
算数応用	7.62	2.29	7.74	2.35	7.74	2.31	7.76	2.31	7.90	2.30	7.96	2.30	8.09	2.33	

	下位検査	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=4,880		n=4,967		n=4,905		n=5,286		n=5,287		n=6,390		n=66,485	
高校2年生	円打点	96.15	16.72	97.00	16.88	95.01	16.45	94.27	15.84	93.41	16.42	93.72	16.15	94.91	16.98
	記号記入	48.13	6.91	48.29	6.49	47.90	6.49	47.92	6.38	47.62	6.55	47.97	6.53	47.61	6.73
	形態照合	17.72	3.52	17.75	3.39	17.88	3.46	17.72	3.36	17.63	3.50	17.62	3.43	17.80	3.45
	名詞比較	44.06	6.02	44.25	6.15	44.49	6.07	44.24	5.98	43.77	6.15	43.97	5.95	44.02	6.03
	図柄照合	17.40	2.29	17.24	2.33	17.21	2.33	17.21	2.30	17.04	2.34	17.22	2.33	17.40	2.34
	平面図判断	12.01	2.80	12.01	2.74	11.96	2.73	11.98	2.76	11.85	2.77	11.80	2.76	12.14	2.79
	計算	15.93	3.51	15.70	3.56	16.00	3.49	16.02	3.54	15.75	3.69	16.22	3.74	16.23	3.65
	語意	17.93	4.19	17.81	4.21	17.84	4.12	17.82	4.08	17.36	4.17	17.42	4.22	17.63	4.21
	立体図判断	13.34	2.82	13.12	2.81	13.18	2.73	13.10	2.77	12.85	2.71	12.72	2.77	13.37	2.77
	文章完成	27.33	6.52	26.94	6.62	26.88	6.65	26.74	6.60	26.00	6.82	26.48	6.50	26.90	6.60
算数応用	7.91	2.28	7.90	2.27	7.97	2.30	7.90	2.31	7.76	2.33	7.84	2.32	7.86	2.31	

図表 3-7 学年別、年度別、各下位検査得点の平均値(mean)と標準偏差(SD) (高校3年生分)

	下位検査	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD												
		n=2,296		n=2,773		n=2,729		n=2,451		n=2,425		n=2,625		n=3,071	
高校3年生	円打点	98.09	15.71	97.12	17.07	94.65	16.06	95.96	17.15	95.87	16.65	93.59	16.02	93.91	16.43
	記号記入	47.81	6.58	47.82	6.81	47.12	6.47	48.26	7.22	47.78	6.36	47.54	6.35	47.68	6.67
	形態照合	17.87	3.37	17.96	3.51	17.81	3.32	18.06	3.56	17.96	3.48	17.63	3.44	17.47	3.52
	名詞比較	44.37	5.85	44.23	5.91	43.67	5.94	44.17	5.94	44.06	6.29	43.22	6.13	43.06	6.55
	図柄照合	17.39	2.27	17.66	2.28	17.50	2.38	17.81	2.27	17.65	2.38	17.34	2.41	17.20	2.36
	平面図判断	12.46	2.80	12.51	2.74	12.22	2.79	12.48	2.73	12.46	2.88	11.92	2.70	11.79	2.89
	計算	16.89	3.72	16.56	3.96	15.92	3.79	15.94	3.72	15.82	3.82	15.43	3.80	14.92	3.87
	語意	17.30	4.22	17.44	4.22	16.97	4.33	17.49	4.21	17.33	4.22	17.22	4.13	16.94	4.39
	立体図判断	13.61	2.62	13.76	2.63	13.49	2.67	13.63	2.70	13.68	2.83	13.30	2.66	13.12	2.81
	文章完成	27.71	6.42	27.65	6.42	26.53	6.46	26.74	6.50	26.90	6.41	25.89	6.41	25.83	6.91
算数応用	7.50	2.30	7.63	2.34	7.37	2.49	7.27	2.28	7.47	2.34	7.34	2.31	7.20	2.37	

	下位検査	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=2,556		n=3,782		n=2,907		n=1,992		n=2,375		n=2,685		n=34,667	
高校3年生	円打点	94.58	19.59	94.75	17.73	97.32	18.24	93.92	16.07	96.09	16.82	95.83	18.55	95.49	17.22
	記号記入	46.86	7.19	47.11	6.83	48.39	7.17	47.94	6.57	48.58	7.30	47.73	7.45	47.71	6.87
	形態照合	17.12	3.59	17.23	3.53	17.42	3.51	17.32	3.46	17.52	3.56	17.31	3.61	17.58	3.51
	名詞比較	41.98	6.62	42.46	6.74	42.69	6.31	43.15	6.20	43.79	6.79	42.96	6.66	43.32	6.37
	図柄照合	16.96	2.34	16.99	2.45	17.02	2.40	16.98	2.39	17.12	2.41	16.98	2.48	17.27	2.39
	平面図判断	11.49	2.83	11.67	2.88	11.54	2.93	11.70	2.79	11.96	2.90	11.71	2.94	11.98	2.86
	計算	14.61	3.91	14.48	4.04	14.72	3.92	15.03	3.88	15.60	4.16	14.95	3.99	15.40	3.97
	語意	16.47	4.41	16.77	4.58	16.98	4.50	17.04	4.29	17.38	4.67	16.90	4.59	17.08	4.39
	立体図判断	12.81	2.87	12.90	2.88	12.62	2.90	12.89	2.88	12.80	2.87	12.56	2.95	13.16	2.83
	文章完成	24.50	7.09	24.63	7.08	25.13	7.04	25.48	6.88	25.72	7.30	24.72	7.40	25.90	6.89
算数応用	7.07	2.33	7.45	2.64	7.37	2.46	7.60	2.40	7.57	2.52	7.37	2.57	7.39	2.43	

(3) 下位検査得点の83年データとの比較

83年版のGATBの手引(労働省職業安定局,1983)によると、83年データの中学生の内訳は中2が427名(男子228名、女子199名)、中3が608名(男子330名、女子278名)で中学生の合計は1,035名となっている。高校生の内訳は高1が1,105名(男子554名、女子551名)、高2が1,033名(男子483名、女子550名)で高校生の合計は2,138名である。データは、中学と高校をあわせて、秋田、栃木、埼玉、東京、長野、愛知、三重、大阪、広島、島根、長崎の各都府県から集められている。

GATBの手引には、83年データの下位検査の数値として、中学生、高校生について、それぞれ学年と男女をこみにした粗点の平均値と標準偏差が掲載されているが、手引作成の際に発行された関連資料には中学生、高校生各学年別の数値が掲載されているので(雇用職業研究所,1983)、本研究のデータと83年データとの比較の際には学年別の値を用いた。

図表3-8に、1983年版の手引作成の際に用いられた、中学生、高校生の学年別下位検査の粗点の平均値(mean)と標準偏差(SD)を示す。また、83年データとの比較のために、本研究のデータのうち、最新である2013年度のデータ(13年データ)の下位検査得点の平均値を図表3-9にまとめた。そして、13年データ(B)から83年データ(A)のそれぞれの平均値を減じた値を算出し(図表3-10)、グラフにしたものを図表3-11に示す。

図表 3-8 1983 年版手引による中学生・高校生別下位検査の粗点の平均値(mean)と標準偏差(SD)

83年データ(A)

下位検査名	中2		中3		高1		高2	
	n=427		n=608		n=1,105		n=1,033	
	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
円打点	93.94	13.42	100.28	13.26	101.67	14.21	102.30	13.71
記号記入	45.91	5.76	47.68	5.63	49.05	5.77	50.07	5.70
形態照合	16.68	3.30	17.46	3.48	17.74	3.46	17.97	3.39
名詞比較	38.24	6.19	40.23	6.34	41.90	5.70	42.49	5.65
図柄照合	15.98	2.14	16.49	2.32	16.76	2.17	16.97	2.13
平面図判断	11.32	2.81	12.21	2.83	13.03	2.67	13.07	2.61
計算	15.70	4.13	17.38	4.42	17.83	3.51	17.92	3.59
語意	15.01	4.31	16.41	4.86	17.67	4.07	17.92	4.17
立体図判断	13.62	2.85	14.29	2.88	14.77	2.71	14.51	2.50
文章完成	22.74	6.74	26.29	7.34	28.40	6.52	28.81	6.51
算数応用	7.18	2.45	7.92	2.76	8.38	2.33	8.37	2.38

※「労働省編一般職業適性検査第一（GATB-I）関係資料」（雇用職業総合研究所，1983）を参照して作成。

図表 3-9 2013 年の中2、中3、高1、高2の下位検査の粗点の平均値(mean)と標準偏差(SD)

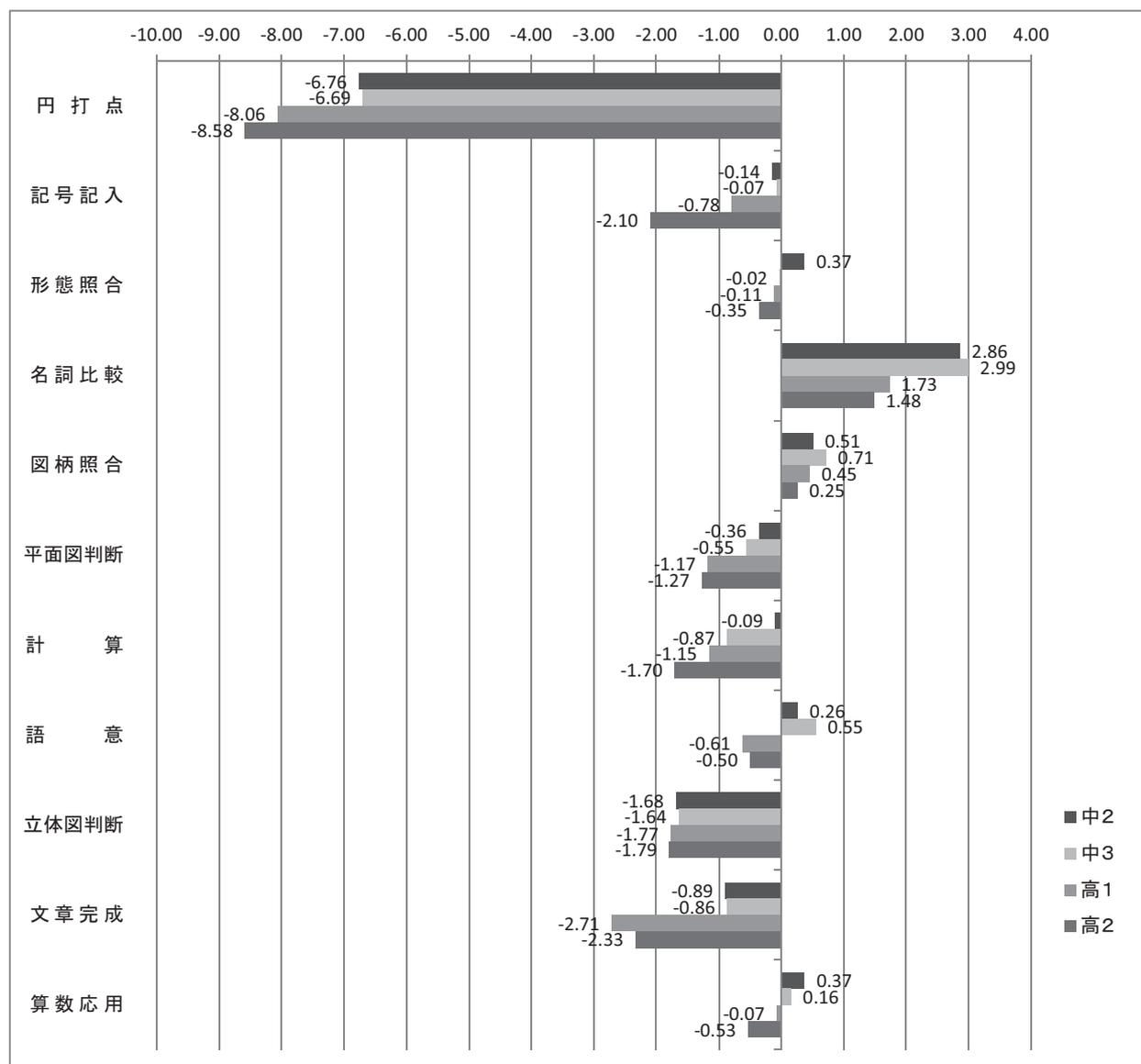
13年データ(B)

下位検査名	中2		中3		高1		高2	
	n=2,186		n=3,205		n=2,401		n=6,390	
	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
円打点	87.18	16.70	93.59	16.98	93.61	15.79	93.72	16.15
記号記入	45.77	6.69	47.61	7.25	48.27	6.91	47.97	6.53
形態照合	17.05	3.43	17.44	3.58	17.63	3.40	17.62	3.43
名詞比較	41.10	6.53	43.22	6.71	43.63	5.71	43.97	5.95
図柄照合	16.49	2.52	17.20	2.49	17.21	2.33	17.22	2.33
平面図判断	10.96	2.99	11.66	2.85	11.86	2.78	11.80	2.76
計算	15.61	4.38	16.51	4.43	16.68	3.35	16.22	3.74
語意	15.27	4.32	16.96	4.70	17.06	4.01	17.42	4.22
立体図判断	11.94	2.82	12.65	2.79	13.00	2.78	12.72	2.77
文章完成	21.85	6.97	25.43	7.92	25.69	6.25	26.48	6.50
算数応用	7.55	2.66	8.08	2.83	8.31	2.26	7.84	2.32

図表 3-10 13年データ(B)の平均値と83年データ(A)の平均値の差(B-A)

下位検査名	中2	中3	高1	高2
円打点	-6.76	-6.69	-8.06	-8.58
記号記入	-0.14	-0.07	-0.78	-2.10
形態照合	0.37	-0.02	-0.11	-0.35
名詞比較	2.86	2.99	1.73	1.48
図柄照合	0.51	0.71	0.45	0.25
平面図判断	-0.36	-0.55	-1.17	-1.27
計算	-0.09	-0.87	-1.15	-1.70
語意	0.26	0.55	-0.61	-0.50
立体図判断	-1.68	-1.64	-1.77	-1.79
文章完成	-0.89	-0.86	-2.71	-2.33
算数応用	0.37	0.16	-0.07	-0.53

図表 3-11 各学年の 83 年データ (A)、13 年データ (B) の下位検査平均値の差 (B-A) のグラフ



図表 3-10 および図表 3-11 における負の値は、13 年データの平均値が 83 年データの平均値よりも低いことを示し、正の値は、13 年データの平均値が 83 年データの平均値よりも高いことを示す。全体としてみると、中学生も高校生も 83 年データに比べて 13 年データで平均値が低くなっている下位検査が多いようである。特に円打点検査では、83 年データに比べて 13 年データの値は大きく低下している。その他、立体図判断、文章完成、計算、平面図判断、記号記入でも中学生、高校生の両方で値の低下傾向がみられた。文章完成、平面図判断は、中学生に比べて高校生の値の低下が大きい。他方、83 年データに比べて 13 年データで平均値が高くなった検査は、名詞比較、図柄照合となった。名詞比較は高校生よりも中学生の値の増加が大きくなっている。語意と算数応用については、83 年データと 13 年データ

との差はそれほど大きくないが、中学生では 83 年データに比べてプラス、高校生ではマイナスになっており、中学生と高校生での傾向に違いがみられた。中学生では 13 年データの方の平均値が高く、高校生では低くなっている。

(4) 各年度の学年別にみた適性能得点の平均値と標準偏差

次に、適性能得点の平均値 (mean) と標準偏差 (SD) を年度別学年別に算出した。本稿では紙筆検査のみの粗点を用いて適性能得点を算出したため、11 個の紙筆検査の粗点から算出された 7 つの適性能 (F: 手腕の器用さと M: 指先の器用さを除く) に関する結果となっている。中学生の値を図表 3-12 に、高校生の値を図表 3-13 に示す。平均値は GATB の 2012 年版の手引に示された形式と同様に男女込みで算出した。また、中学 1 年生については下位検査と同様にデータ数が少ないので対象としていない。

なお、第 2 章で述べた通り、GATB では適性能得点の換算にあたり、平均が 100、1 標準偏差が 20 となるような方法がとられている。本研究でのデータは 83 年データで用いられたものと同じ換算表を用いているので、適性能得点が 100 であればその水準は 83 年データで作られた規準と同じく平均レベルということを示す。100 より大きければ、83 年データの平均よりも高く、100 より小さければ 83 年データの平均よりも低いということになる¹⁴。

中学生について、学年別に全年度の傾向をみると、中学 2 年生では、書記 (Q) と形態 (P) に 100 以上の平均値がみられ、中学 3 年生では、言語 (V)、書記 (Q)、形態 (P) に 100 以上の平均値がみられる。書記 (Q) と形態 (P) の適性能得点の平均値は 83 年データの平均値よりも高い傾向が示されているといえる。高校生については、概して高校 1 年生から 3 年生まで、中学生と同様に、書記 (Q) と形態 (P) に 100 以上の値がみられる。

適性能得点の書記 (Q) は、下位検査のうち、名詞比較の粗点で算出されており、名詞比較の平均値は 83 年データに比べて、近年得点が高くなっているため、適性能得点にもそれが反映されている。また、形態 (P) は、下位検査のうち、形態照合と図柄照合の 2 つの粗点の合計得点を用いて算出される。形態照合は 83 年データに比べて、近年、全般に得点が高くなっているということではないが、他の検査に比べると低下傾向が小さいこと、また、図柄照合はどの学年でも平均値が高くなっているため、適性能の形態 (P) としてみると、図柄照合の平均値の高さが反映されて、83 年データよりも得点が高くなったと考えられる。

¹⁴ 83 年データの中学生の規準は中学 2 年生と 3 年生をあわせたデータで作成され、高校生の規準は高校 1 年生と高校 2 年生をあわせたデータで作成されている。図表 3-12 および図表 3-13 では各学年ごとに適性能得点の平均値が示されているので、厳密に言えば、規準データとの学年の違いの影響も考えられる。83 年データと本研究のデータの同じ学年間での比較は別途検証する。

図表 3-12 中学生の適性能得点の年度別平均値(mean)と標準偏差 (SD)

	適性能	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD												
		n=3,901		n=3,820		n=2,980		n=2,185		n=2,436		n=2,804		n=3,201	
中学2年生	G 知的	94.16	18.22	93.63	18.21	91.99	17.70	93.15	18.03	91.84	17.75	92.85	18.32	93.70	18.55
	V 言語	96.16	18.09	96.57	18.29	95.26	17.84	97.16	18.65	95.50	18.42	96.73	18.66	98.04	18.86
	N 数理	94.63	19.16	94.40	19.13	93.18	18.76	93.18	18.64	92.23	18.21	92.26	19.11	93.39	18.99
	Q 書記	102.70	19.41	102.45	20.53	102.11	19.41	103.64	19.13	103.18	19.78	104.07	19.90	105.99	19.74
	S 空間	95.86	19.42	95.37	19.17	94.08	18.75	93.75	18.99	91.83	19.31	92.50	19.57	93.92	19.62
	P 形態	102.97	20.72	102.65	21.16	102.14	20.66	102.29	21.00	100.65	21.21	100.92	21.19	102.12	21.34
	K 共応	90.12	22.81	87.12	23.51	86.80	23.08	89.57	24.13	89.19	23.04	91.99	23.18	91.78	23.05

	適性能	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=2,794		n=2,690		n=2,137		n=2,514		n=2,775		n=2,186		n=36,423	
中学2年生	G 知的	93.12	18.52	91.60	19.08	93.01	18.92	92.15	19.38	92.30	18.47	91.23	18.82	92.78	18.45
	V 言語	97.54	18.80	95.37	19.02	96.38	18.29	95.74	18.42	96.42	17.95	94.94	18.42	96.33	18.44
	N 数理	93.88	19.02	93.46	19.69	96.09	19.43	95.22	19.65	95.88	19.05	96.45	19.83	94.14	19.16
	Q 書記	105.88	19.81	104.16	20.64	105.02	20.12	104.71	19.95	105.83	19.73	105.33	20.56	104.13	19.94
	S 空間	94.19	19.07	91.64	19.50	92.63	19.32	91.25	19.64	90.61	19.01	89.37	20.26	93.10	19.43
	P 形態	101.61	20.79	99.23	21.98	100.75	20.46	100.53	21.73	101.30	21.34	100.82	21.45	101.51	21.17
	K 共応	93.45	22.89	91.88	24.54	91.07	23.36	90.31	23.57	90.71	24.02	89.06	24.21	90.16	23.52

	適性能	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
		n=11,029		n=9,434		n=7,789		n=6,611		n=6,128		n=5,425		n=6,069	
中学3年生	G 知的	98.38	19.54	98.85	19.19	98.98	19.56	99.05	20.24	99.43	20.08	99.81	19.91	99.58	20.25
	V 言語	101.75	19.72	101.78	19.67	101.57	19.61	101.90	20.24	103.03	20.09	103.89	20.32	104.38	20.56
	N 数理	97.29	20.28	98.25	20.05	98.82	20.12	98.65	20.30	97.97	20.22	98.58	20.39	98.18	20.38
	Q 書記	107.25	20.71	107.42	20.50	108.42	20.42	107.88	20.47	107.84	20.78	109.15	20.02	110.07	20.87
	S 空間	98.08	19.77	98.32	19.89	97.74	19.76	96.49	19.73	95.75	19.70	96.23	19.36	96.15	19.79
	P 形態	106.29	21.37	106.17	21.19	106.22	21.44	105.09	21.23	104.99	21.60	104.49	21.01	105.01	20.92
	K 共応	90.95	24.76	90.92	23.84	91.49	24.46	82.03	29.11	91.45	24.86	93.94	24.27	97.27	24.37

	適性能	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=5,416		n=4,928		n=3,779		n=2,638		n=2,801		n=3,205		n=75,252	
中学3年生	G 知的	99.34	20.25	97.87	19.92	98.91	21.23	99.04	20.31	96.86	20.40	99.39	20.89	98.92	19.98
	V 言語	103.80	20.43	101.98	20.15	103.23	20.90	102.96	20.50	101.34	20.43	103.82	20.63	102.57	20.15
	N 数理	99.15	20.28	98.34	20.76	99.32	21.83	101.02	20.68	98.01	21.15	101.07	20.86	98.53	20.45
	Q 書記	109.41	21.20	109.02	20.38	109.74	21.52	110.29	21.32	108.82	20.66	112.02	21.16	108.63	20.73
	S 空間	96.70	19.66	95.16	19.40	95.42	20.20	95.93	19.81	94.36	20.04	94.93	19.45	96.68	19.77
	P 形態	104.68	21.71	103.62	21.14	104.61	21.59	105.12	22.14	104.53	21.73	106.12	21.70	105.33	21.39
	K 共応	95.74	25.44	96.92	24.97	98.67	25.43	97.27	25.98	96.88	24.59	97.99	24.97	92.85	25.49

図表 3-13 高校生の適性能得点の年度別平均値(mean)と標準偏差(SD)

	適性能	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
		n=585		n=495		n=1,083		n=877		n=1,004		n=1,423		n=1,474	
高校1年生	G 知的	91.92	21.27	84.33	23.59	79.23	25.39	84.53	23.58	90.16	23.57	89.58	22.53	90.02	22.51
	V 言語	96.52	19.64	87.63	23.63	84.80	23.10	90.50	22.80	93.20	21.97	94.19	20.52	93.97	21.38
	N 数理	92.76	20.41	84.10	25.35	77.49	25.37	83.18	24.70	91.17	23.31	89.01	21.85	88.70	22.24
	Q 書記	102.02	20.57	95.38	23.92	94.56	24.58	97.11	23.31	102.57	22.26	100.63	22.44	102.14	22.44
	S 空間	90.77	22.42	87.90	22.31	84.22	23.47	87.85	22.45	90.32	22.64	88.61	23.45	88.36	22.00
	P 形態	101.40	22.41	96.79	23.35	96.73	23.13	99.19	22.29	101.53	21.90	100.70	22.88	100.04	21.68
	K 共応	85.71	27.31	81.72	31.41	83.50	27.60	85.91	26.10	87.95	22.82	89.60	26.11	91.75	25.54

	適性能	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=1,652		n=1,841		n=1,885		n=1,996		n=2,118		n=2,401		n=18,834	
高校1年生	G 知的	88.81	22.55	87.85	22.25	87.37	21.50	89.29	21.10	91.86	20.29	90.36	19.84	88.62	22.15
	V 言語	93.62	20.48	92.53	20.60	91.88	19.51	93.11	19.53	94.31	18.95	93.67	18.86	92.70	20.56
	N 数理	88.49	21.83	88.15	21.62	88.13	20.99	91.44	20.97	95.73	19.60	94.85	18.74	89.70	22.03
	Q 書記	102.26	21.47	102.60	21.31	102.00	20.02	103.92	21.37	104.25	20.15	104.99	20.08	102.03	21.68
	S 空間	88.15	23.33	88.33	22.06	87.21	21.80	87.87	22.06	88.94	21.73	87.62	21.84	88.07	22.36
	P 形態	100.39	21.97	99.51	22.50	99.00	21.66	100.19	21.13	100.82	21.18	101.26	21.04	100.03	21.91
	K 共応	92.94	24.86	91.98	24.41	89.54	23.92	90.06	23.20	90.44	23.35	90.77	23.49	89.64	24.90

	適性能	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD												
		n=4,340		n=4,745		n=5,087		n=5,017		n=5,068		n=4,876		n=5,637	
高校2年生	G 知的	91.62	20.84	92.07	20.95	92.89	21.02	91.94	20.71	92.81	20.51	93.17	20.13	93.59	20.41
	V 言語	95.77	20.90	96.39	20.72	97.24	20.46	96.86	20.34	97.36	20.32	97.80	19.88	98.97	19.69
	N 数理	92.72	20.82	92.53	21.20	92.34	20.87	91.13	20.64	91.73	20.57	91.71	20.34	92.77	20.14
	Q 書記	105.41	21.64	105.35	21.12	106.60	21.48	106.05	21.13	105.80	20.67	106.15	20.78	107.08	20.95
	S 空間	93.69	21.78	93.54	21.91	94.34	22.03	92.06	21.40	92.23	21.59	91.73	21.46	90.79	21.58
	P 形態	105.47	22.31	104.98	21.79	106.21	21.64	103.77	21.54	103.77	21.47	103.39	20.95	103.34	21.72
	K 共応	90.06	25.03	92.93	29.05	90.59	25.60	86.92	22.99	88.74	23.02	89.61	22.50	91.10	23.78

	適性能	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=4,880		n=4,967		n=4,905		n=5,286		n=5,287		n=6,390		n=66,485	
高校2年生	G 知的	92.43	20.37	91.13	20.71	91.49	20.53	90.70	20.74	88.20	20.93	89.05	20.63	91.57	20.71
	V 言語	98.75	20.02	97.78	20.20	97.82	19.92	97.57	19.73	95.08	20.25	95.96	19.99	97.18	20.20
	N 数理	90.11	19.69	89.12	20.06	90.64	20.00	90.38	20.15	88.72	20.80	91.06	20.95	91.13	20.52
	Q 書記	106.50	21.18	107.19	21.62	108.02	21.36	107.16	21.02	105.50	21.60	106.18	20.92	106.40	21.19
	S 空間	89.67	21.87	88.86	21.72	88.81	21.45	88.66	21.53	87.03	21.53	86.32	21.44	90.45	21.78
	P 形態	102.79	21.59	101.90	21.36	102.22	21.41	101.60	21.04	100.30	21.71	101.37	21.38	103.08	21.58
	K 共応	92.55	24.08	93.55	23.66	91.18	23.28	90.62	22.67	89.36	23.17	90.31	23.14	90.56	24.06

	適性能	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度	
		mean	SD												
		n=2,296		n=2,773		n=2,729		n=2,451		n=2,425		n=2,625		n=3,071	
高校3年生	G 知的	92.07	20.64	92.91	20.79	89.15	21.55	89.49	20.65	90.76	20.86	87.44	20.42	86.29	22.32
	V 言語	97.17	20.12	97.55	20.17	94.53	20.35	96.48	20.24	96.18	19.98	94.46	19.79	93.48	21.38
	N 数理	92.35	21.31	91.52	22.16	87.79	22.00	87.49	21.20	87.80	21.58	85.68	21.36	83.02	21.97
	Q 書記	107.59	20.59	107.10	20.77	105.14	20.90	106.91	20.89	106.53	22.13	103.55	21.52	103.01	23.01
	S 空間	93.07	21.22	93.88	21.00	91.32	21.37	93.25	21.27	93.31	22.41	89.06	20.92	87.67	22.53
	P 形態	103.28	21.04	105.12	21.17	103.65	20.99	106.38	21.41	105.09	22.01	102.06	22.22	100.64	22.16
	K 共応	93.46	22.86	92.68	24.68	89.34	22.85	92.62	25.01	91.65	23.27	89.35	22.92	89.91	23.79

	下位尺度	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
		mean	SD	mean	SD										
		n=2,556		n=3,782		n=2,907		n=1,992		n=2,375		n=2,685		n=34,667	
高校3年生	G 知的	82.67	22.31	84.70	23.43	84.50	22.81	86.82	22.11	86.88	23.37	83.65	23.91	87.33	22.25
	V 言語	90.18	21.69	91.31	22.08	92.64	21.88	93.35	20.97	94.78	22.77	91.87	22.51	94.02	21.26
	N 数理	81.25	21.73	82.31	23.31	82.95	22.46	85.21	22.15	87.40	23.76	83.90	23.16	85.83	22.47
	Q 書記	99.21	23.25	100.89	23.69	101.72	22.19	103.32	21.78	105.59	23.88	102.65	23.41	103.92	22.39
	S 空間	84.95	22.39	86.23	22.68	84.57	22.83	86.38	22.28	87.49	22.71	85.28	23.42	88.82	22.38
	P 形態	97.93	22.40	98.49	22.64	99.37	22.14	98.81	21.97	100.33	22.59	98.78	22.80	101.42	22.17
	K 共応	88.89	26.40	89.40	24.72	93.97	26.10	90.39	22.98	93.38	25.15	91.54	26.62	91.19	24.56

(5) 適性能得点の83年データとの比較

下位検査得点の場合と同じく、適性能得点に関しても83年データとの比較を行った。83年データの各学年の平均値と標準偏差を図表3-14に示す。これは83年版のGATBの手引作成の際の関連資料に記載されている数値に基づいて作成した(雇用職業総合研究所,1983)。なお、83年版のGATBではその時のデータに基づいて換算基準を決めており、中学生の基準については中2と中3の得点をあわせ、高校生の基準については高1と高2の得点をあわせて、各適性能の基準が100となるように作られている。そのため、学年ごとにみると、中2は100よりもやや小さく、中3は100よりもやや大きな値となる。高校生についても同様のことがいえる。

また、比較のために01-13年データのうち、最新である2013年のデータに基づいて算出した適性能得点の平均値を中2、中3、高1、高2についてまとめたものが図表3-15である。中2、高1、高2については、書記(Q)と形態(P)が100よりも大きい。中3については、書記(Q)と形態(P)に加えて、言語(V)と数理(N)も100より高くなっている。その他については100よりも値が低い。

図表3-14 1983年版手引による中学生・高校生別適性能得点の平均値(mean)と標準偏差(SD)

83年データ(A)

適性能	中2		中3		高1		高2	
	n=427		n=608		n=1105		n=1033	
	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
G 知的	94.99	18.25	103.52	20.49	100.06	20.06	99.94	20.05
V 言語	95.26	18.18	103.34	20.59	99.34	19.90	100.69	20.11
N 数理	95.40	18.35	103.24	20.52	99.85	19.40	100.15	20.4
Q 書記	96.33	19.46	102.60	19.94	98.96	20.04	101.02	19.87
S 空間	96.26	19.58	102.63	19.90	100.32	20.67	99.64	19.26
P 形態	96.73	19.05	102.30	20.36	98.98	20.02	101.06	19.92
K 共応	94.93	19.65	103.58	19.50	98.78	20.10	101.28	19.88

※「労働省編一般職業適性検査第一(GATB-I)関係資料」(雇用職業総合研究所,1983)を参照して作成。

図表3-15 2013年の中2、中3、高1、高2の適性能得点の平均値(mean)と標準偏差(SD)

13年データ(B)

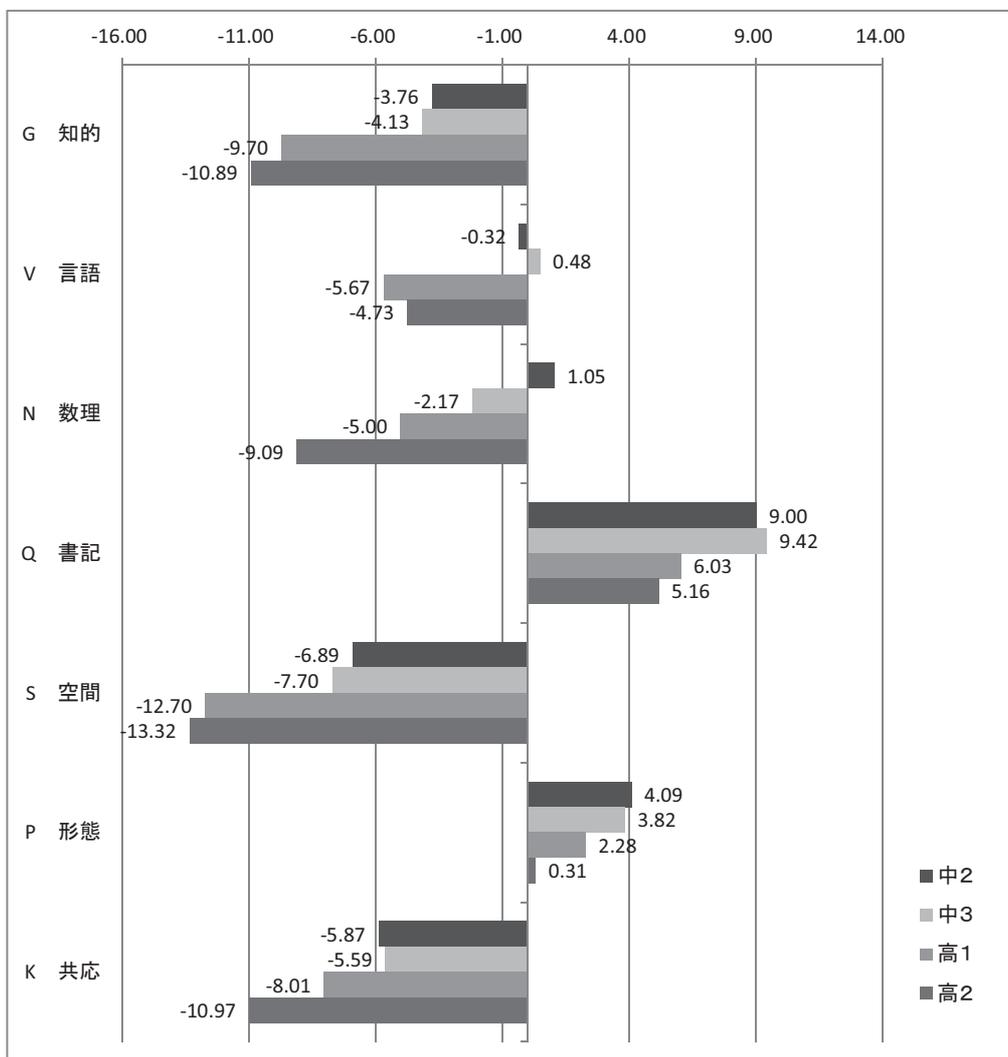
適性能	中2		中3		高1		高2	
	n=2186		n=3205		n=2401		n=6390	
	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
G 知的	91.23	18.82	99.39	20.89	90.36	19.84	89.05	20.63
V 言語	94.94	18.42	103.82	20.63	93.67	18.86	95.96	19.99
N 数理	96.45	19.83	101.07	20.86	94.85	18.74	91.06	20.95
Q 書記	105.33	20.56	112.02	21.16	104.99	20.08	106.18	20.92
S 空間	89.37	20.26	94.93	19.45	87.62	21.84	86.32	21.44
P 形態	100.82	21.45	106.12	21.70	101.26	21.04	101.37	21.38
K 共応	89.06	24.21	97.99	24.97	90.77	23.49	90.31	23.14

各学年別に適性能得点の13年データ(B)の平均値から83年データ(A)の平均値をひいて、平均値の差を求めた結果が図表3-16である。これをグラフにした結果が図表3-17である。

図表3-16 13年データ(B)の平均値と83年データ(A)の平均値の差(B-A)

適性能	中2	中3	高1	高2
G 知的	-3.76	-4.13	-9.70	-10.89
V 言語	-0.32	0.48	-5.67	-4.73
N 数理	1.05	-2.17	-5.00	-9.09
Q 書記	9.00	9.42	6.03	5.16
S 空間	-6.89	-7.70	-12.70	-13.32
P 形態	4.09	3.82	2.28	0.31
K 共応	-5.87	-5.59	-8.01	-10.97

図表3-17 各学年の83年データ(A)、13年データ(B)の適性能得点の平均値の差(B-A)のグラフ



図表 3-17 をみると、書記 (Q) と形態 (P) においてプラスの値がみられ、83 年データよりも 13 年データの得点が高くなっている。特に書記 (Q) はどの学年でも高い。形態 (P) については、高 2 ではほとんど差がないが、他の学年ではプラスの値がみられた。

そのほかの適性能に関しては、全体として負の値となり、83 年データに比べて 13 年データの値が小さくなっている。高校生で負の値が大きかったのは、空間 (S)、共応 (K)、知的 (G) であった。数理 (N) については、高 2 で負の値が大きかった。中学生においても、高校生と同様に空間 (S)、共応 (K)、知的 (G) で負の値がみられたが、高校生に比べて 83 年データと比較したときの差は小さい。言語 (V) と数理 (N) については、高校生では負の値であるが、中学生では学年によっては正の値もみられ、それほど差は大きくなかった。

(6) 長期時系列でみた中学生と高校生の適性能の変化

前節で下位検査の得点と適性能得点の両方について、83 年データと直近の 2013 年のデータの違いを比較したが、2013 年で得点が高くなっているものと低くなっているものがあった。

前節の結果をまとめると、下位検査では、83 年データに比べて 13 年データの値が低下しているものに、円打点、立体図判断、文章完成、計算、平面図判断、記号記入検査があった。このうち文章完成、平面図判断は、中学生に比べて高校生の値の低下が大きい。他方、83 年データに比べて 13 年データで平均値が高くなったのは、名詞比較、図柄照合検査であった。語意と算数応用については、83 年データと 13 年データとの差はそれほど大きくないが、中学生と高校生での傾向に違いがみられ、中学生では 13 年データの方の平均値が高く、高校生では低くなった。

下位検査の得点傾向は適性能に関しても同様に反映されており、適性能得点に関して中学生と高校生で若干傾向の違いはみられたが、書記 (Q) と形態 (P) は中高ともに 2013 年の方で得点が高めになった。知的 (G)、空間 (S)、共応 (K) は中高ともに低くなった。数理 (N)、言語 (V) は中学生よりも高校生で低下傾向がみられた。

現在の GATB の換算表の基準が作られたのは 1983 年版の GATB が公表されたときであるので、それから約 30 年後に同一の検査を用いて同じ基準で換算したときに各適性能の得点にどのような違いがみられるのかを調べるという意味で、83 年データと 13 年データを比較したが、長期的にみた場合、それぞれの適性能得点の変化にはなんらかの一定の傾向がみられるのであろうか。そこで、次に 2001 年度から 2013 年度までの適性能得点の平均値の推移について検討する¹⁵。なお、GATB の手引の換算点は、中学生、高校生ともに学年をこみにした結果で算出されているので、現行版の適性能の換算点の平均 100 と比較するため、本研究のデータについても中学生については中 2、中 3 をまとめ、高校生については高 1、高 2 のデータをこみにした。中学生と高校生の 2001 年度から 2013 年度までの適性能の平均値

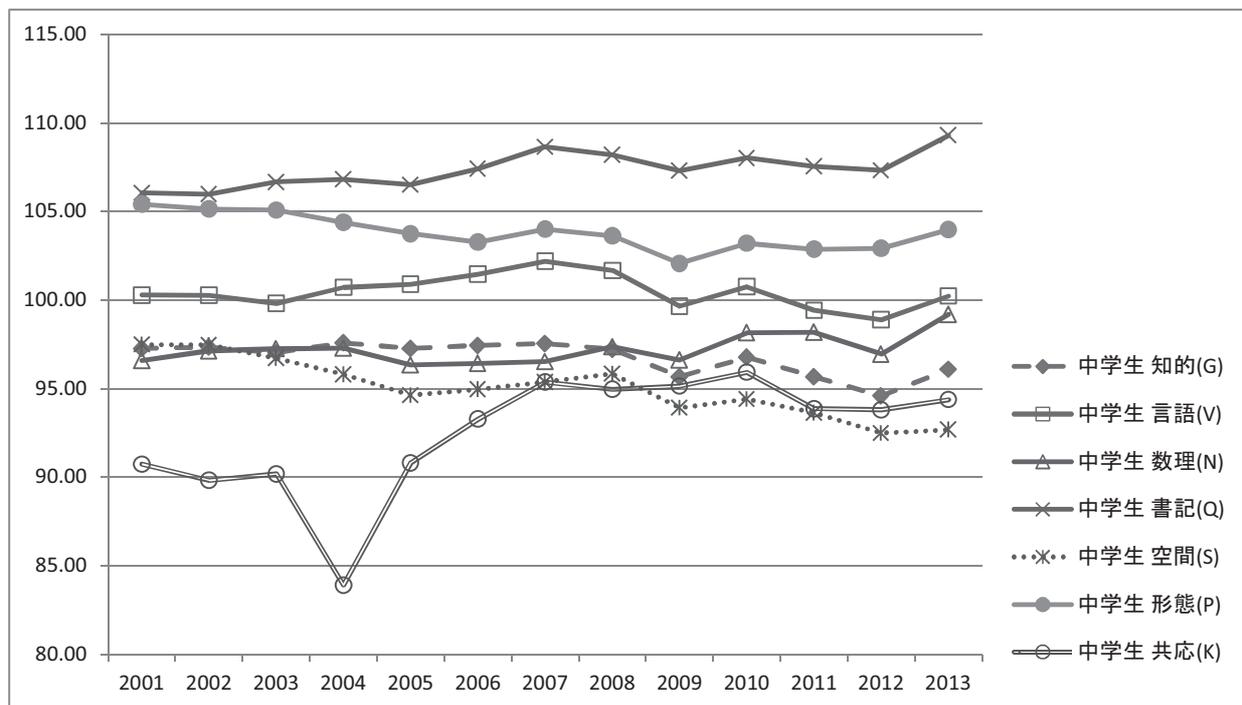
¹⁵下位検査の粗点は各検査によって最高点が異なること、各下位検査得点は適性能得点に反映されることを考慮し、ここでは、適性能得点のみを用いて長期的な得点の推移を検討した。

(mean) と標準偏差 (SD) を図表 3-18 に示す。また、中学生と高校生別に適性能の平均値を年度順にグラフに表した結果が図表 3-19 と図表 3-20 である。グラフの縦軸は適性能得点を示し、100 が現行版手引の平均的な水準となる。

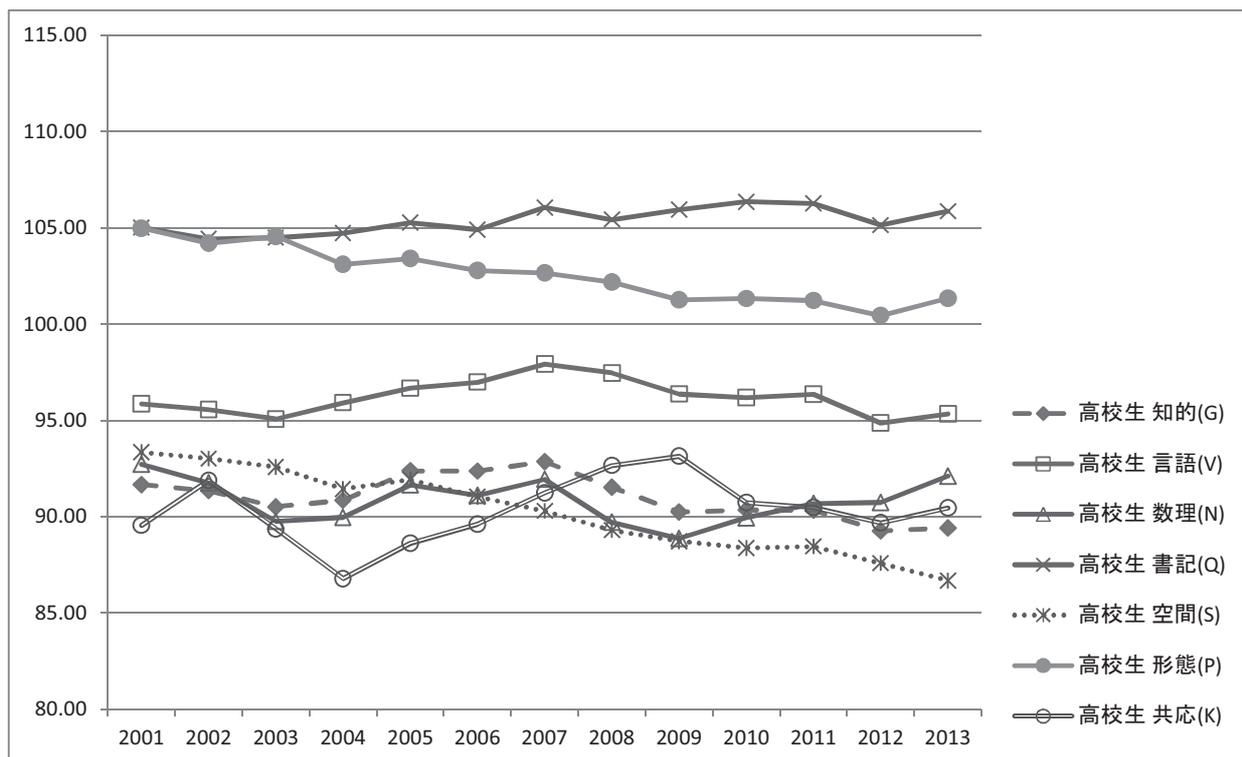
図表 3-18 中学 2、3 年生、高校 1、2 年生の適性能得点の年度別平均値 (mean) と標準偏差 (SD)

中学生	適性能	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		
		mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	
		n=14,930		n=13,254		n=10,769		n=8,796		n=8,564		n=8,229		n=9,270		
	G 知的	97.28	19.29	97.35	19.06	97.04	19.32	97.59	19.87	97.28	19.74	97.44	19.66	97.55	19.88	
	V 言語	100.29	19.46	100.28	19.43	99.82	19.34	100.73	19.96	100.90	19.92	101.45	20.06	102.20	20.22	
	N 数理	96.60	20.03	97.14	19.86	97.26	19.91	97.29	20.04	96.34	19.84	96.43	20.19	96.53	20.04	
	Q 書記	106.06	20.47	105.98	20.63	106.67	20.34	106.83	20.23	106.52	20.61	107.42	20.12	108.66	20.57	
	S 空間	97.50	19.70	97.47	19.73	96.72	19.55	95.81	19.58	94.63	19.67	94.96	19.51	95.38	19.76	
	P 形態	105.42	21.25	105.16	21.24	105.09	21.31	104.39	21.21	103.76	21.58	103.28	21.14	104.01	21.11	
	K 共応	90.73	24.27	89.82	23.81	90.19	24.18	83.90	28.14	90.81	24.37	93.28	23.92	95.37	24.06	
		適性能	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
			mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
			n=8,210		n=7,618		n=5,916		n=5,152		n=5,576		n=5,391		n=111,675	
		G 知的	97.23	19.90	95.67	19.86	96.78	20.62	95.67	20.15	94.59	19.59	96.09	20.47	96.92	19.71
		V 言語	101.68	20.11	99.66	20.01	100.75	20.26	99.43	19.84	98.89	19.39	100.23	20.24	100.54	19.83
		N 数理	97.36	20.02	96.63	20.52	98.15	21.05	98.19	20.38	96.95	20.15	99.20	20.57	97.10	20.15
		Q 書記	108.21	20.80	107.31	20.60	108.03	21.15	107.56	20.85	107.33	20.25	109.31	21.17	107.16	20.59
	S 空間	95.85	19.49	93.92	19.51	94.41	19.93	93.64	19.86	92.49	19.62	92.68	19.97	95.52	19.73	
	P 形態	103.64	21.45	102.08	21.54	103.22	21.27	102.87	22.06	102.92	21.60	103.98	21.75	104.09	21.39	
	K 共応	94.96	24.62	95.14	24.93	95.92	24.97	93.87	25.07	93.81	24.50	94.38	25.05	91.97	24.90	
高校生	適性能	2001年度		2002年度		2003年度		2004年度		2005年度		2006年度		2007年度		
		mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	
		n=4,925		n=5,240		n=6,170		n=5,894		n=6,072		n=6,299		n=7,111		
	G 知的	91.66	20.89	91.34	21.33	90.50	22.45	90.84	21.32	92.37	21.07	92.36	20.75	92.85	20.91	
	V 言語	95.86	20.75	95.56	21.17	95.06	21.47	95.91	20.84	96.67	20.66	96.99	20.08	97.93	20.15	
	N 数理	92.72	20.77	91.74	21.76	89.74	22.45	89.95	21.48	91.64	21.05	91.10	20.72	91.93	20.66	
	Q 書記	105.01	21.54	104.41	21.59	104.49	22.52	104.72	21.70	105.27	20.98	104.90	21.29	106.06	21.36	
	S 空間	93.34	21.88	93.01	22.01	92.57	22.62	91.43	21.61	91.92	21.78	91.03	21.96	90.28	21.69	
	P 形態	104.98	22.36	104.20	22.07	104.54	22.20	103.09	21.71	103.40	21.56	102.78	21.43	102.65	21.75	
	K 共応	89.54	25.35	91.88	29.46	89.35	26.10	86.77	23.48	88.61	22.99	89.61	23.36	91.24	24.16	
		適性能	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度		年度こみ	
			mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD	mean	SD
			n=6,532		n=6,808		n=6,790		n=7,282		n=7,405		n=8,791		n=85,319	
		G 知的	91.52	21.00	90.24	21.18	90.34	20.89	90.31	20.85	89.25	20.81	89.41	20.42	90.92	21.07
		V 言語	97.45	20.26	96.36	20.44	96.17	19.99	96.35	19.77	94.86	19.88	95.33	19.71	96.19	20.36
		N 数理	89.70	20.27	88.86	20.50	89.94	20.31	90.67	20.39	90.73	20.70	92.10	20.44	90.82	20.87
		Q 書記	105.43	21.33	105.95	21.63	106.35	21.17	106.27	21.17	105.14	21.20	105.86	20.70	105.43	21.38
	S 空間	89.29	22.25	88.72	21.81	88.36	21.56	88.45	21.68	87.57	21.60	86.67	21.56	89.93	21.93	
	P 形態	102.18	21.71	101.25	21.69	101.32	21.53	101.22	21.07	100.45	21.56	101.34	21.28	102.41	21.69	
	K 共応	92.65	24.28	93.13	23.88	90.73	23.47	90.47	22.81	89.67	23.23	90.44	23.24	90.36	24.25	

図表 3-19 中学生の適性能得点の年次推移



図表 3-20 高校生の適性能得点の年次推移



①中学生の傾向

中学生の適性能のレベルをみると、100以上のものは、書記(Q)と形態(P)で、書記(Q)はどちらかといえば右上がりに推移しているのに対して、形態(P)は、2001年度から2009年度にかけては徐々に低下傾向を示し、2010年度以降、横ばいの状態となっている。言語(V)は平均的水準の100前後で推移している。100よりも低めとなっているのは、知的(G)、数理(N)、空間(S)、共応(K)である。共応(K)は2001年度から2006年度にかけて90台前半程度で低くなっていたが、2007年度以降は他の適性能と同様に95程度のレベルとなっている。2004年度の83.90という値は前後の長期的な傾向からみると何らかのはずれ値の影響も考えられる。2001年度は共応(K)を除いて、知的(G)、数理(N)、空間(S)は97程度のレベルでそろっているが、それ以降、空間(S)は徐々に低下傾向を示し、2013年度には93程度のレベルになっている。数理(N)は、ずっと97前後で横ばいであったが、2010年度以降、少しずつ高くなっている。知的(G)は2008年度までは97前後であったが、2009年度以降少しずつ低下した。その後2013年度は96程度に回復している。

②高校生の傾向

高校生については、書記(Q)と形態(P)が100よりも高く、83年に作られた規準の平均レベルよりも近年の傾向として高くなっていることがわかるが、年次推移としてみると、中学生と同じように、書記(Q)は右上がり、形態(P)は下降傾向を示すことがわかる。その次にレベルが高いのは言語(V)であるが、95から98の間にあり、ほぼ同じ水準を保っている。知的(G)、数理(N)、空間(S)、共応(K)は、2001年度は90から95の間に集まっているが、長期的にみると傾向が異なり、知的(G)は2005年度～2007年度にかけて右上がりになるがそれ以降は低下傾向を示す。数理(N)は知的(G)と同じく、2007年度にかけて高くなり、2009年度にかけて低下し、それ以降は再び右上がりとなっている。空間(S)は、当初93程度であったのが、2013年度には87程度になり、経年にともない低下している。共応(K)は、2004年度に低下したが、その後右上がりとなり、2009年度に93程度にまで上昇した後、2010年度以降は90程度で推移している。

③83年版換算基準とのずれについて

以上のような傾向をまとめてみると、中学生の場合には、個々の適性能により上昇、下降の傾向はあるが、長期的にみて、ほとんどの適性能が概ね平均的な水準(100)の±1標準偏差以内(90～110の間)にあり¹⁶、83年版の換算基準を適用してもそれほどのはずれは生じていないと考えられる。他方、高校生の場合には、書記(Q)、形態(P)、言語(V)については、95から105の間での推移であり、換算基準の平均とそれほど差は見られないといえる。他方、それ以外の適性能については、±1標準偏差の範囲内には入っているが、その範

¹⁶ 適性能が90～99の場合は評価段階がC、100～109までは◎でどちらも平均レベルとなる。

圏の下限の 90 前後で推移しているものが多い。特に、近年、右下がり傾向が続いている空間 (S) については、現行版で用いられている 83 年版の換算基準をあてはめたときには、プロフィールを描いた時に平均よりも低い評価段階 (D) になってしまうケースが多くなる可能性も懸念される。その意味で今後の得点の推移について注意する必要があるだろう。なお、中学生とは異なり、高校生の場合にはデータの学科構成の影響も考えられる。得点が比較的高めに推移している書記 (Q) や言語 (V) は文系能力に関連し、得点が低めに推移している数理 (N) や空間 (S) などは、どちらかというとい理系の能力に関連すると考えた場合、83 年データに比べたときの 01-13 年データの学科構成として文系の得点が高くなるような要素が含まれているかを確認する必要がある。前述の学科構成 (図表 3-5) をみると、今回分析からはずした高校 3 年生を除く高校 1 年、2 年生をまとめてみたとき、01-13 年データでは、83 年データより、普通科の割合がやや減少し、商業科が多くなっている。商業科には女子が多く含まれることから、学科構成や性差が適性能得点に反映されている可能性も考えられるが、これらの影響については、別途、第 4 章で検討する。

3-4 まとめ

本章では、2001 年度から 2013 年度に実施された中学生と高校生の GATB のデータを用いて、現行版の手引で用いられている 83 年データの基準値との比較や長期的にみた場合の適性能得点の推移について検討した。

①83 年データと 2013 年データとの比較について

下位検査得点については、名詞比較、図柄照合検査が中学生、高校生ともに 83 年データより 2013 年のデータの方で得点が高くなり、それぞれが下位検査に含まれる適性能の書記 (Q) と形態 (P) の得点の高さに反映された。円打点は 83 年データよりも大幅に低くなっており、適性能の共応 (K) はそれを反映して低くなっていた。その他、平面図判断と立体図判断が低く、これは適性能のうち空間 (S) に関する得点の低さに表れた。また、全般に中学生よりも高校生の方が 83 年データよりも低下が大きい傾向があった。

②適性能の水準に関する長期的な得点の推移について

2001 年度から 2013 年度にかけての長期的な得点の推移をみた場合、中学生は全体として 83 年データの適性能の平均レベルである 100 前後で適性能得点が推移しており、これまでの換算基準の適用については特に問題がないと考えられる。高校生については、書記 (Q)、形態 (P)、言語 (V) については 83 年データの換算基準を適用しても平均的な水準を維持しているが、その他の適性能については、平均的な範囲ではあるものの低めに推移している傾向がみられ、特に近年、右下がり傾向のある空間 (S) については今後の得点の推移につい

でも注意深く見ていく必要があると考えられた。ただし、高校生のデータについては、学科構成、男女の割合などのサンプルの特性による影響も考えられるので、高校生一般の傾向をどの程度反映しているかについては慎重に捉えなくてはならないだろう。

GATB の進路指導・職業指導用は、中学校での実施数は減少しつつある反面、高校での利用はむしろ以前より増えてきている傾向もみられ、学卒後の進路指導に向けた 1 つの指標となる検査として、近年でも重要な役割を果たしていることは確かであろう。そのため、GATB が今後もずっと信頼できる検査として利用され続けていくためには、定期的なデータの収集等を通して検査や手引の検討を継続していく必要があるだろう。現在用いられている適性能の基準がその時点の中学生や高校生の母集団の平均的な水準とずれてしまっていたら、各適性能のレベルに応じて付加される A から E までの評価基準のもつ意味とのずれが生じてしまうためである。例えば、その時点での高校生の母集団での平均的な水準の能力をもつ生徒であったとしても、83 年データの基準と比較した場合に平均より低いという評価となる可能性が生じる。このようなことを踏まえて、現時点での GATB の適性能の水準がもつ意味を捉えておく必要があるといえるだろう。

なお、本章では、GATB の 1 つの大きな特徴である、職務遂行のレベルとの照合については取り上げなかったが、職務要件が大きく変化している近年、職業に必要な各能力のレベルを示す所要適性能の見直しについてもいずれは検討しなくてはならない課題である。

参考文献

- 厚生労働省職業安定局 2013 「厚生労働省編一般職業適性検査手引 進路指導・職業指導用 改訂第 2 版」 雇用問題研究会
- 雇用職業総合研究所 1983 労働省編一般職業適性検査第一 (GATB-I) 1983 改訂新版 (進路指導用) 関係資料 雇用職業総合研究所
- 労働省職業安定局 1983 「労働省編一般職業適性検査手引 改訂新版」 雇用問題研究会